

【PMOの負担をどこまで減らせるか？】
生成AI時代のプロジェクト管理手法の変革
～ 複数LLMを採用したONES Assistantで変わるプロジェクト管理 ～

会社紹介

情報システム部門・DX部門を取り巻く課題

生成AI活用の目的

ONES製品とは

ONES Assistant機能

プランと価格

導入実績



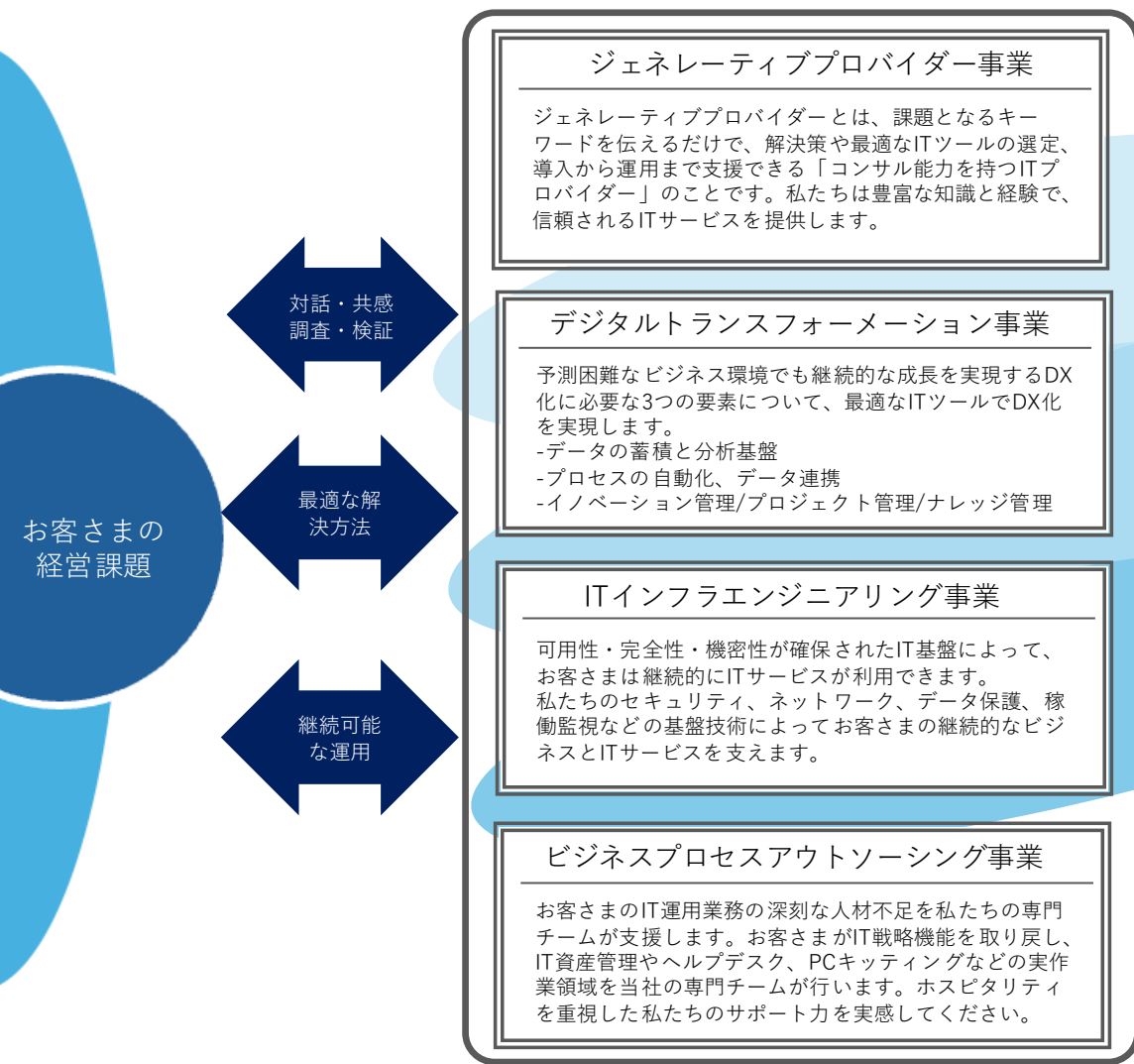
会社概要

会社名	株式会社システムコンシェルジュ	設立	2005年7月26日
代表取締役	飯田 健夫	資本金	1,000万円
所在地	東京都千代田区神田錦町2-11-7	従業員数	45名（役員・従業員・契約社員含む）
TEL	03-5577-5735	事業内容	・イノベーション創出・組織文化醸成事業 ・ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）事業 ・ジェネレーティブプロバイダー事業
拠点	大阪オフィス 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番8号 千代田ビル西別館3階G号室 宮古島オフィス 沖縄県宮古島市平良字西里1018番地1 マティダヒルズ102号	主な取引先 （50順）	株式会社エヌオーイー 株式会社飯田産業 岐阜女子大学 株式会社SOYOKAZE 株式会社スコープ 田島ルーフィング株式会社 TIS株式会社 株式会社ヒューマントラスト 株式会社阪急交通社 株式会社マクスコーポレーション メディカル・データ・ビジョン株式会社 株式会社ユニマットライフ
福利厚生	関東ITソフトウェア健康保険組合 福利厚生サービス：リロクラブ オフィス内：リフレクソロジー / カイロプラクティック / ロルフィング / コーヒー無料 退職金制度		



ITテクノロジーで価値創造と創出を支援するジェネレーティブプロバイダー

System Concierge



最適な方法 (Process)

各種マネジメントシステム

(ITサービス管理、イノベーション管理、ナレッジ管理、プロジェクト管理、セキュリティ管理、人工知能 (AI) 管理など)

フレームワーク / ガイドライン

(Scaled Agile Framework®, ISO56002/ISO56001、ISO30401、ISO9001、ISO42001、ISMS、セキュリティ基準など)

経験・実績

(統合基幹業務システム、ビジネスインテリジェンス (BI)、文書情報管理、グループウェア、セキュリティなど)

高い技術力 (Technology)

ハードウェア (サーバー、ネットワーク機器・無線LAN、PC、PBX、IP電話など)

ソフトウェア (OS、アプリケーション、データベース、ミドルウェアなど)

セキュリティ

(ネットワーク/エンドポイント/SASE/ゼロトラスト/アプリケーションセキュリティなど)

デジタルトランスフォーメーション

(RPA、iPaaS、DWH、BI、生成AI、テキストマイニングなど)

信頼される人 (People)

プロジェクトマネジメント力 (アジャイル・スクラム、ウォーターフォールなど)

イノベーション力 (イノベーション国際資格、イノベーションプロフェッショナル資格など)

技術力 (AWS資格、Oracle資格、LPIC/LinuC資格、CCNA資格、その他IT関連資格など)

業務理解力 (簿記、販売士、旅程管理主任者、社労士、その他業務資格など)



当社の強み



IT Infrastructure (IT基盤技術)

堅牢なIT基盤がなければアプリケーションを稼働させることはできません。私たちはThe Linux Foundationを支援する日本を代表するエンジニアを技術顧問とし、最新のIT技術を求めつつ、過去の技術にも目を向けお客さまが求める最適な技術の探求とサービス提供を行います。

IT Tools (先進的なツール活用)

変化に素早く対応するには、活用できる技術やツール、ライブラリなどを知り、実際に利用することが重要です。私たちはITツールや技術を探求し、実際に体感することで最高のサービスが提供できると考えています。私たちの社内では多くのツールを活用しています。

IT Practices (成功と失敗によって研鑽される方法論)

ツールや技術自体は価値とはいえません。価値を感じてくれるお客さま、喜んでくれる方々がいて価値に変わることができます。予測不可能な社会のなかで継続的な価値を提供するために、日本初の国際標準企画ISO56002／ISO56001（イノベーション・マネジメントシステム）の認証を取得し、他では実践していないイノベーションの仕組みを作りました。この仕組みや方法論をお客さまへサービス提供し、「私たちからお客さまへ」「お客さまから私たちへ」それが私たちの考えるチームワークと価値あるサービスの方法論です。



当社の強み

日本国内初のISO56002 / ISO56001（イノベーション・マネジメントシステム）の認証取得



イノベーションの国際標準規格「ISO56001」とは

「ISO56001」は、世界中のイノベーションを起こした企業のマネジメント手法を分析し、考え方や方法論をベストプラクティス化したイノベーション・マネジメントシステムの国際標準規格です。新しい価値を創出し、価値の継続と向上を実現するためのガイドラインです。

人材育成・組織開発に関するアワード受賞

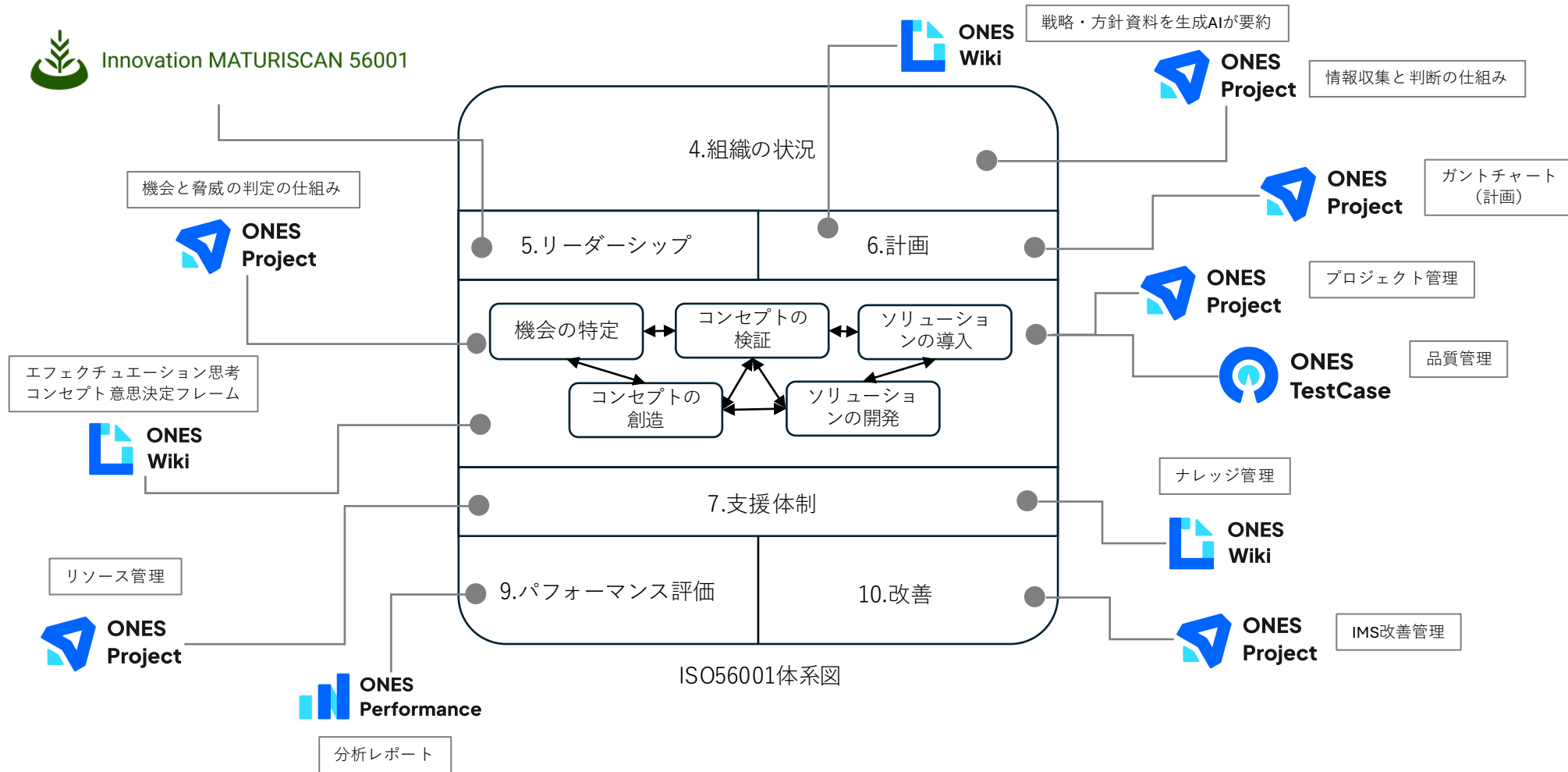


ラーニングイノベーションアワード2023とは

人的資本情報の開示が義務化され、人的資本経営への注目が日々高まる中、多くの日本企業が人材投資による取り組みを加速しています。ALL DIFFERENT株式会社は、人材育成に取り組む企業に様々な事例を紹介し、新たな知見や視点を提供するために、年に一度「ラーニングイノベーションアワード」を開催し、人材育成・組織開発において優れた取り組みを行っている企業を表彰しています。ラーニングスパイラル賞は、「気づく」「学ぶ」「できる・変わる」「続ける」の全ステップを構築し、実効を上げている企業に授与されます。



Innovation MATURISCAN 56001



会社紹介

情報システム部門・DX部門を取り巻く課題

生成AI活用の目的

ONES製品とは

ONES Assistant機能

プランと価格

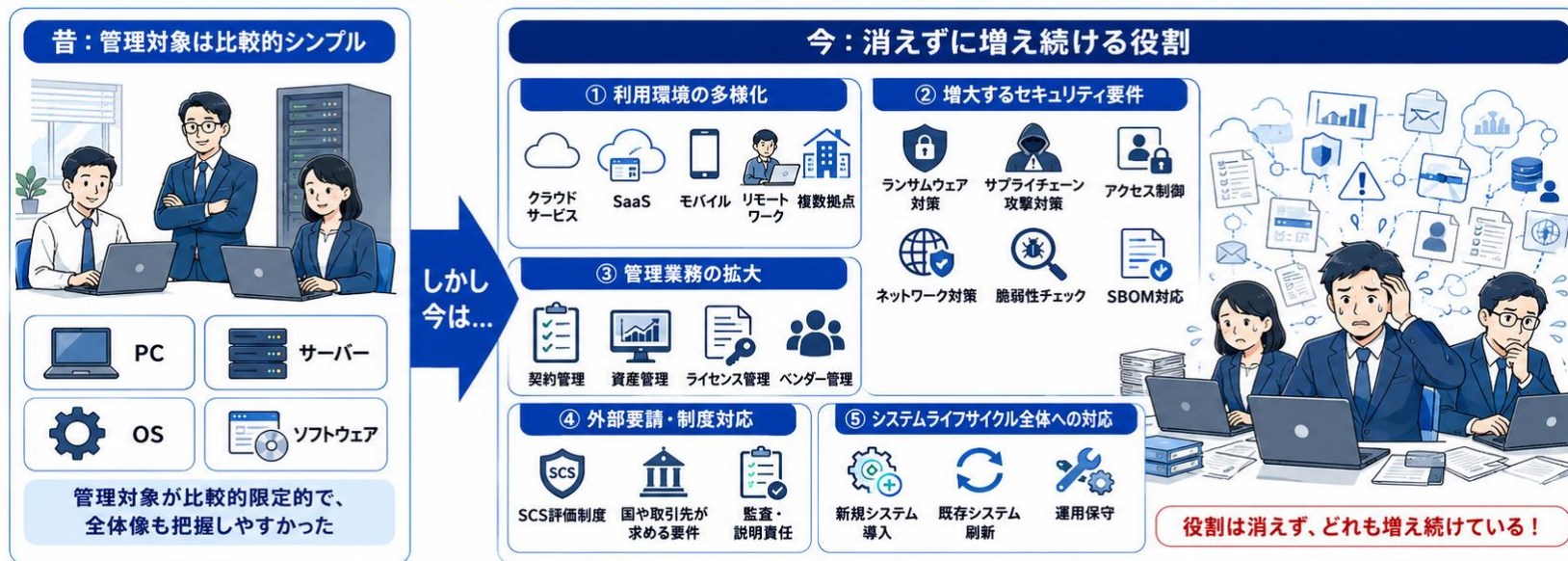
導入実績



情報システム部門・DX部門には、従来のシステム運用やヘルプデスク対応に加え、DX推進、業務改革、データ活用、AI活用、セキュリティ強化など、経営・事業に直結する役割が求められています。
一方で、業務量の増加、人材不足、ナレッジの分散、属人化、プロジェクトの複雑化により、従来の「人が探す・まとめる・判断材料を作る」やり方には限界が生じています。

情報システム部門の役割は、なぜここまで広がったのか

管理対象・要求事項・業務範囲は、昔より大きく増えている



求められる役割は減らず、増える一方

そのなかで新規導入・刷新・運用保守まで担うため、
情報システム部門が**人手不足**になりやすいのは当然である



情報システム部門は“運用部門”ではなく、
経営基盤を支える**中核機能**へ



生成AIは、議事録要約、タスク抽出、リスク洗い出し、問い合わせ対応、社内文書検索、過去事例の再利用などを支援し、プロジェクト管理とナレッジ活用を高度化する基盤になります。

重要なのは、生成AIを単なる便利ツールとして使うのではなく、業務プロセス、ナレッジ管理、権限管理、レビュー体制と組み合わせて、**組織**の生産性向上に結びつけることです。

生成AIは“個人の便利ツール”ではなく、組織の生産性向上につなげる仕組み

個人活用ではなく、組織の仕組みに組み込むことが重要



生成AIは、個人を助けるだけでなく、**組織の仕組みに組み込んでこそ** 成果につながる

会社紹介

情報システム部門・DX部門を取り巻く課題

生成AI活用の目的

ONES製品とは

ONES Assistant機能

プランと価格

導入実績



情報収集・集計・報告・確認という仕事のための仕事” が構造的に増えている

Wellington 2026

72 %

毎月半日以上を
レポート集計に費やす

Source: Wellington, State of
Project Management Report 2026

Wellington 2026

67 %

PMOの範囲・責任が
拡大すると見ている

Source: Wellington, State of
Project Management Report 2026

PROCAN 2025

1/3

経営・PM層が
本業時間5割以下

Source: PROCAN「雑務に奪われる時間
と本業に集中する時間の実態調査」

国内調査紹介

30.3 %

週6～10時間を
雑務に消費

Source: オフィスのミカタ掲載記事 /
PROCAN調査

国内調査の補足

週6～10時間



11～15時間程度



16時間以上



雑務の影響

集中できない 39.2%

ストレス・モチベーション低下 29.8%

提案・企画 32.0%

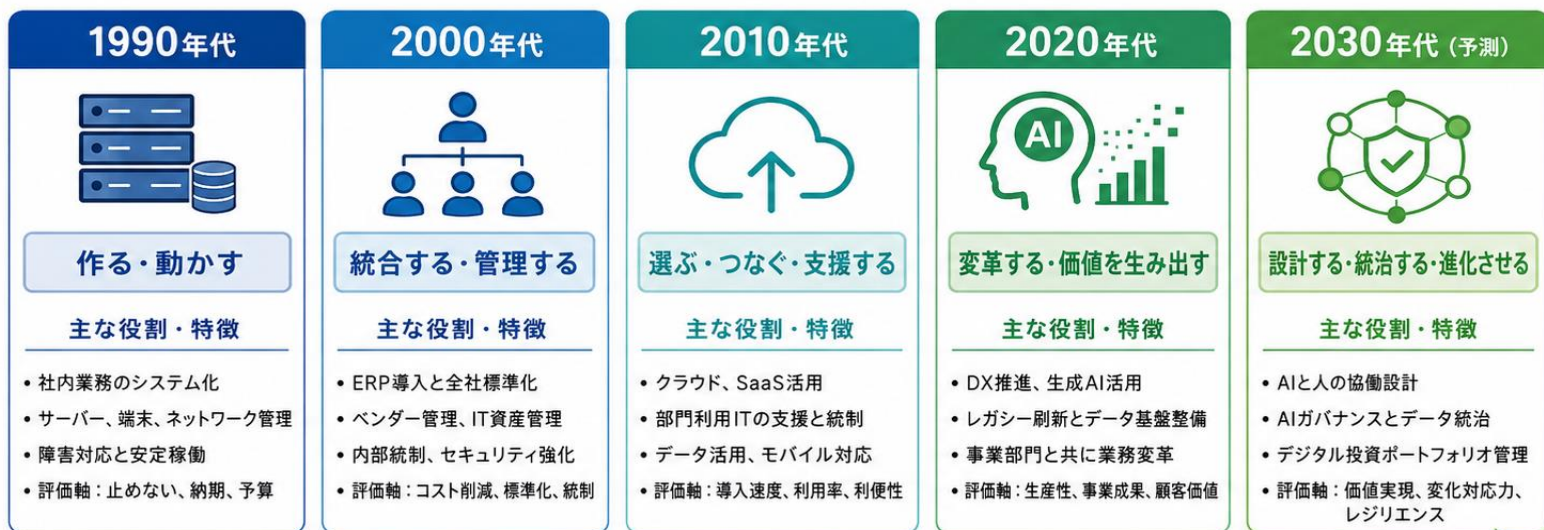
プロジェクト推進 31.8%

管理・集計・報告の負荷を下げることで、PM/PMOの判断品質とプロジェクト推進力を高める起点になる



情報システム部門が担う、役割は大きく変革している。
プロジェクト管理手法は、変革できていますか？

システム運用部門から、デジタル経営を支える経営機能へ



全体の変化

情報システム部門は、単なる“社内システムの構築・運用部門”から、“事業価値を継続的に生み出すために、AI・データ・業務・人材を統合して設計・統治する経営機能”へと進化していく。



1. 負担が集中する作業

情報収集
進捗・課題・会議内容を集める

整理・集計
決定事項、未決事項、数値をまとめる

報告作成
週次報告・役員報告のドラフトを作る

関係者確認、抜け漏れ、依存関係、
認識齟齬を確認する



2. 生成AIが支援すること

議事録要約
決定事項・未決事項を抽出

タスク抽出
担当者・期限・対応事項を整理

リスク洗い出し
遅延兆候・依存関係を検知

レポート生成
状況別に報告ドラフトを作成



3. PM/PMOが集中すべきこと

意思決定支援
論点・選択肢・判断材料を整理

関係者調整
優先順位と合意形成を進める

リスク対応
早期に手を打ち、影響を抑える

価値確認
成果・学び・再利用資産を残す

生成AI活用の目的は、PM/PMOを「集計担当」から「判断・調整・価値実現の支援役」へ戻すこと

会社紹介

情報システム部門・DX部門を取り巻く課題

生成AI活用の目的

ONES製品とは

ONES Assistant機能

プランと価格

導入実績

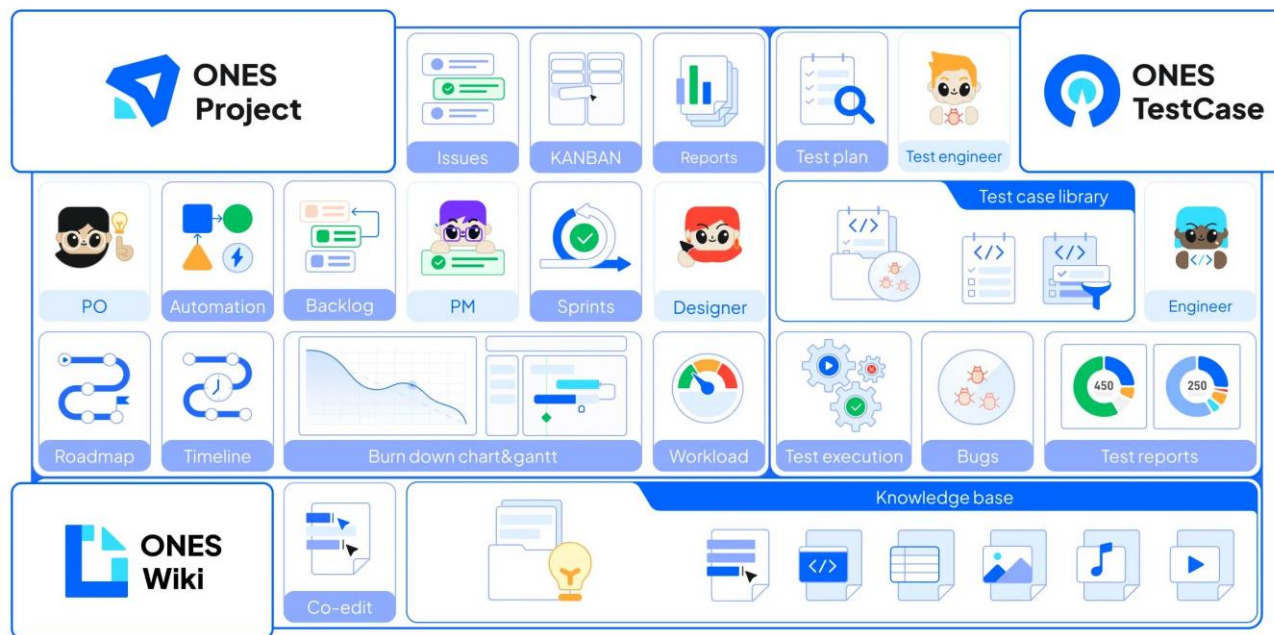


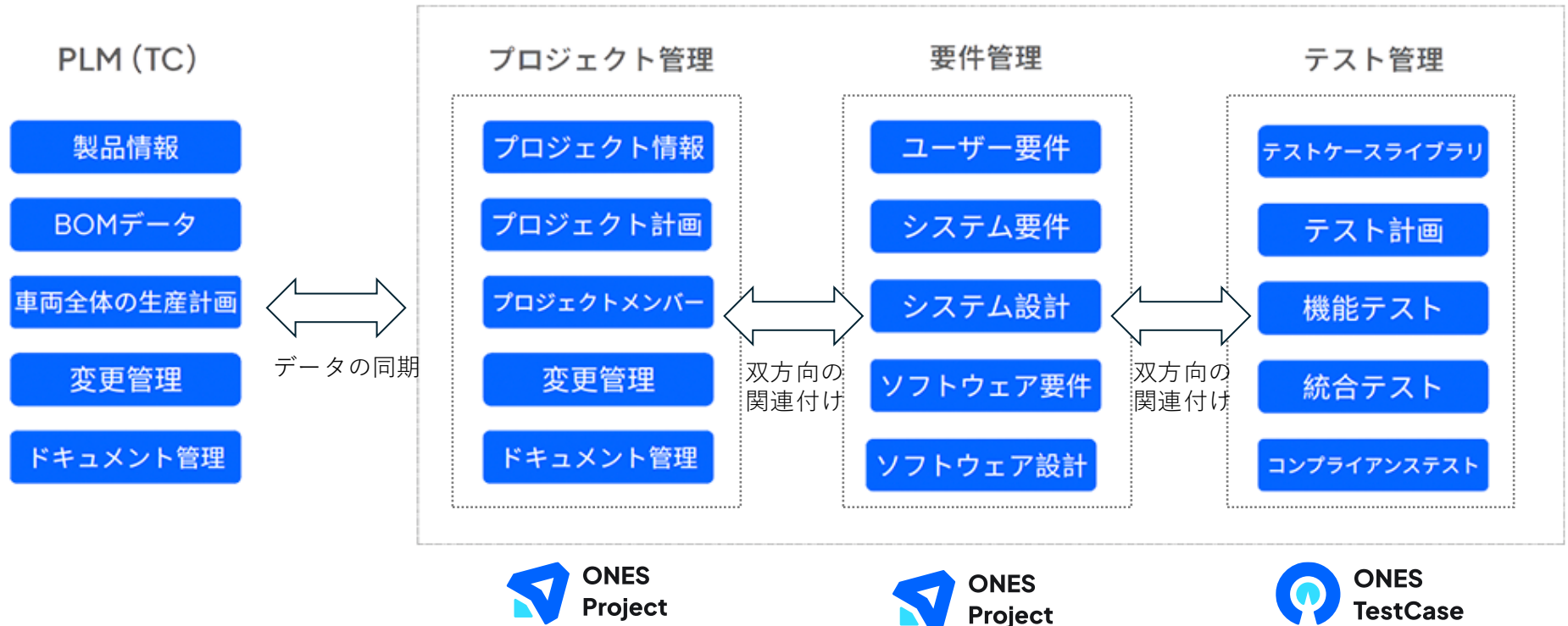
組織の生産性を高める最高のコラボレーション行うためのプラットフォーム

ONES.comは、プロジェクト管理・ナレッジ管理・AI活用を統合した、組織の生産性を高める最高のコラボレーション行うためのプラットフォームです。

ONES Projectによるタスク・要件・進捗管理、ONES Wikiによるナレッジ蓄積・文書共有、ONES Assistantによる自然言語での検索・集計・文書作成・課題操作を通じて、プロジェクト管理とナレッジ活用を横断的に支援します。アジャイル、ウォーターフォール、ハイブリッドなど多様な管理手法に対応し、チームの情報共有、意思決定、業務効率化を支援します。

ONES.com は、ビジネス組織を構成するビジネス部門から技術部門、研究開発部門、サポート部門など、あらゆる部門で利用でき、部門間の情報やプロセスを効率よく連携することで、組織全体の生産性を劇的に向上させます。





ASPICE対応のオールインワン開発プラットフォーム「ONES」



ONES Desk
チケット管理

フィードバック収集
チケットの割り当て
チケット対応
チケット追跡



ONES Resource
リソース管理

資源計画
進行の追跡
工数の集計
工数管理

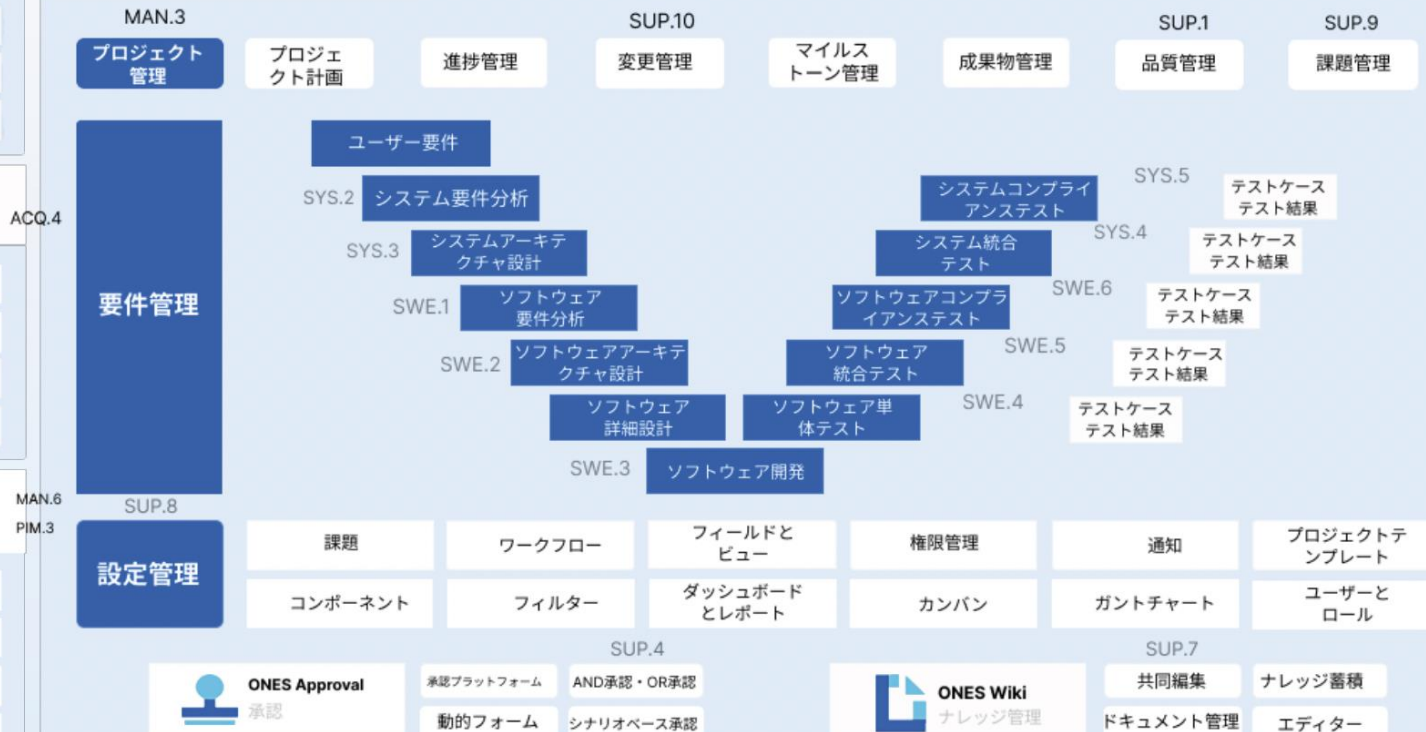


ONES Performance
パフォーマンス管理

開発パフォーマンス管理
チームパフォーマンス
テンプレートライブラリ
カスタムクエリ



ONES Project
プロジェクト管理



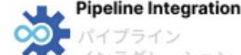
ONES TestCase
テスト管理

テストケースライブラリの管理
テスト計画
テストケース
テスト報告



Code Integration
コードインテグレーション

コードリポジトリ統合
自動トリガー
コード関連付け
コード統計



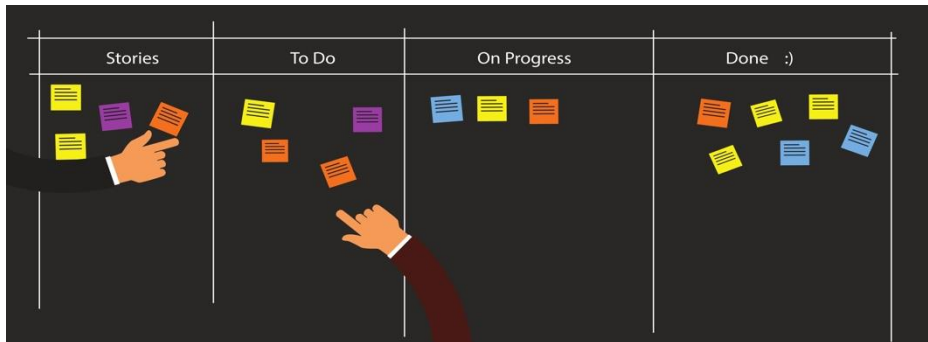
Pipeline Integration
パイプラインインテグレーション

継続的インテグレーション連携
可視化されたCI/CD
コード品質の分析
自動テストの分析

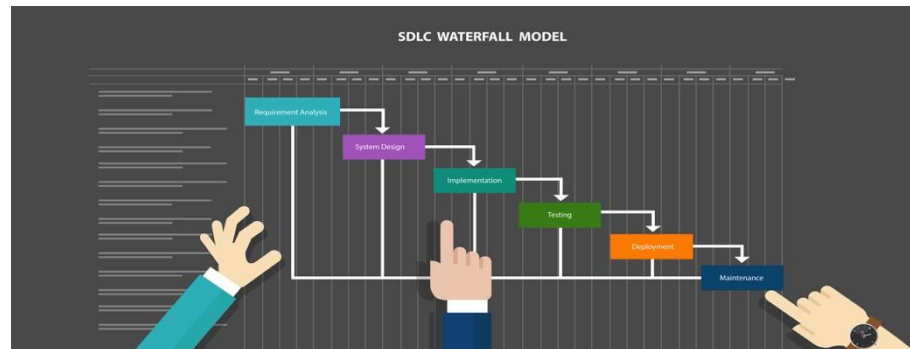


ONES Projectは、複数の手法のプロジェクト管理手法に標準で対応します。
また要件定義や設計はウォーターフォール型、開発はアジャイル型というハイブリッドな使い方もできる。
もっとも先進的なプロジェクト管理ツールです。

アジャイル・スクラム、カンバン方式



ウォーターフォール方式



開発管理

アジャイル スクラム
スプリント計画、バックログ管理、進捗追跡を含むスクラムのベストプラクティスをご活用いただけます。

スプリント 要件 バグ リリース

ウォーターフォール開発管理
WBS ガントチャート、マイルストーン、成果物の作成・管理が可能なウォーターフォール型プロジェクト管理ツールです。

ガントチャート 要件 バグ リリース

ハイブリッド開発
ガントチャートにスプリントを導入し、ウォーターフォールとアジャイルそれぞれのメリットを活かした開発を実現します。

ガントチャート スプリント 要件 バグ

カンバン
視覚的なワークフローでチームの生産性を最大化。

カンバン 要件 バグ

プロダクト管理

プロダクト ロードマップ
プロダクト ビジョンを作り、チーム全員と共有し、共通認識を醸成します。

要件 ロードマップ

要件管理
要件の整理と優先度の設定を行うことで、価値のある目標を明確にし、それに集中して取り組むことが可能となります。

要件

バグトラッキング
バグの記録、優先度の設定、修正状況の追跡をカバーしたバグ管理ツールです。

バグ

チケット管理

サービスマネジメント
チケットの収集・管理を効率化し、対応の質とスピードを向上させます。

一般コラボレーション

プロジェクト計画
プロジェクトの計画策定と進捗追跡を効率化します。

ガントチャート

タスク管理
シンプルなチーム コラボレーションや個人のタスク管理に最適。



ONES Wiki（ワズウィキ）は、アトラシアン製品 Confluence(コンフルエンス) 互換のナレッジ管理ツールです。タスク管理、プロジェクト管理など業務プロセスと情報管理を融合可能な本当のナレッジ管理ツールといえます。

情報管理、知的財産（知識・経験）を蓄積し、すばやい発見・気づきによって組織の生産性を劇的に向上させることができます。

ER図やシステム構成図など



フローチャート /UMLなど



スペースの階層構造とダッシュボード

テンプレートによる質と量を確保

Microsoft Wordのような操作性

情報を共有する

作図機能による優れた表現



テストケースの作成・管理

製品やプロジェクト別にテストケースライブラリを作成し、一元管理・長期保守できます。

テスト計画の実行

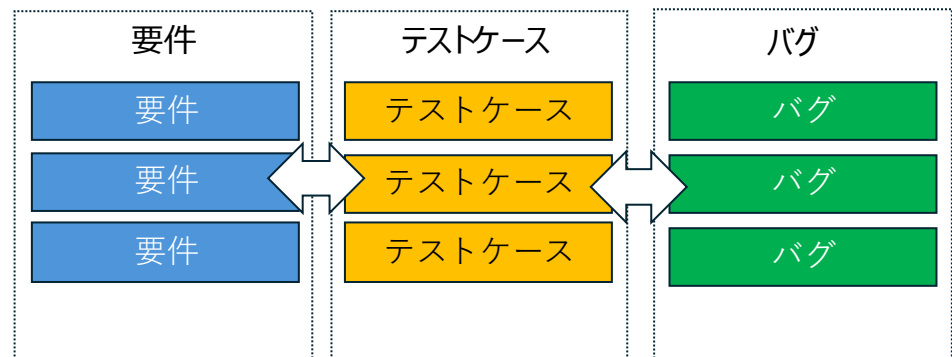
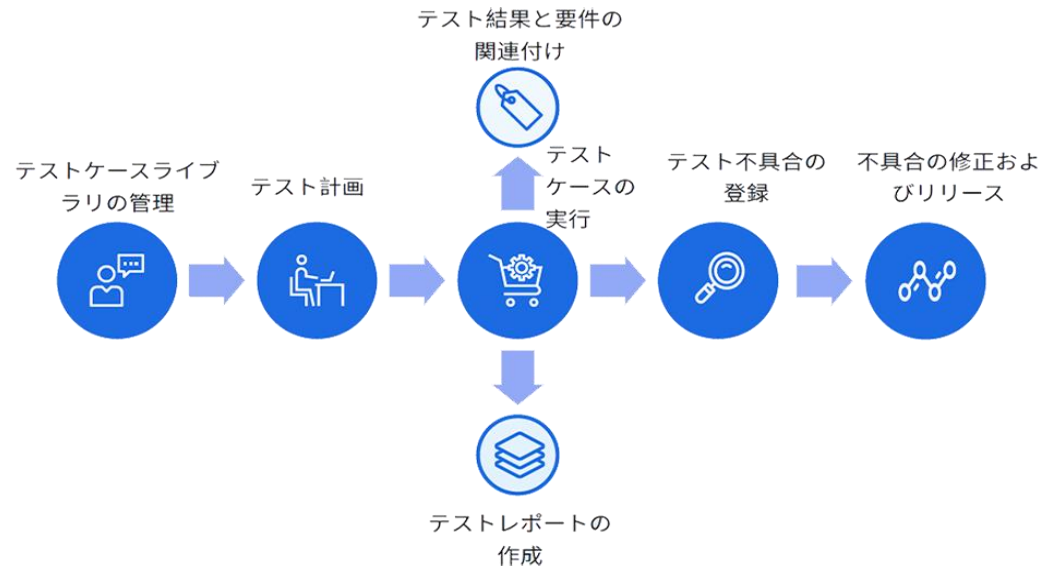
テスト目標別に計画を整理し、テストケースを割り当てて実行状況を管理できます。

要件トレーサビリティ

失敗したテストから不具合を作成し、開発チームとの対応状況を追跡できます。

レポート・可視化

プロジェクト、イテレーション、テスト計画別にテスト状況と不具合状況を可視化できます。



会社紹介

情報システム部門・DX部門を取り巻く課題

生成AI活用の目的

ONES製品とは

ONES Assistant機能

プランと価格

導入実績



01 コンテキスト認識

現在ページ、モジュール、プロジェクト、スプリント、フィルターを理解

02 コンテキスト スコープ制御

対象データ範囲を制御し、必要な文脈に絞ってAIを使う

03 課題の作成と管理

Issue / Bug / Task などの作成・更新・通知を支援

04 Wiki Q&A・生成

Wikiから質問回答、出典付き回答、文書生成を支援

05 プロジェクト分析

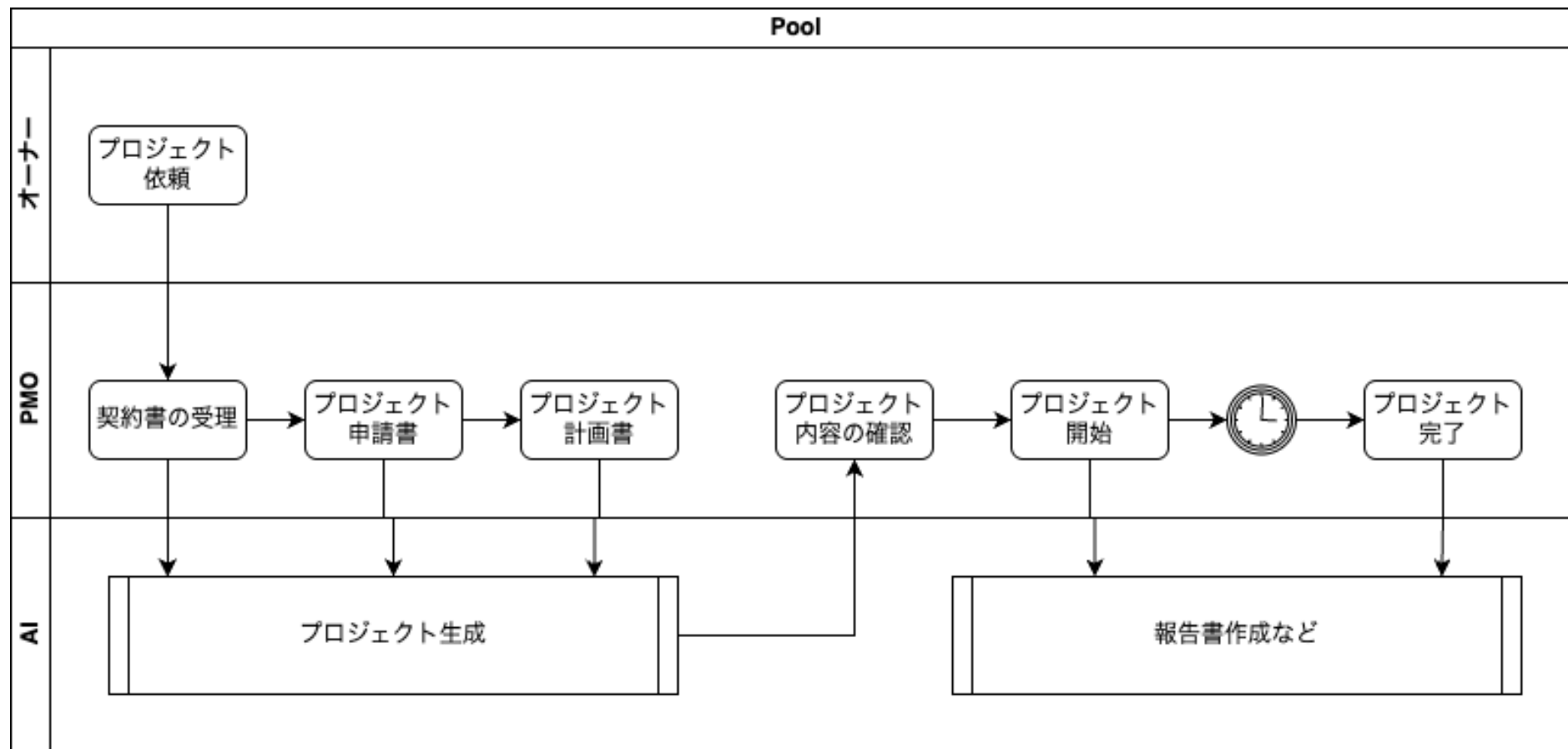
進捗・変更傾向・リスク・リソースなどを分析

06 通知要約・監視

過去24時間などの通知を要約し、進行リスクを把握

07 外部Web検索

必要に応じて外部情報の検索も組み合わせる





ITテクノロジーで価値創造と創出を支援するジェネレーティブプロバイダー

System Concierge

プロジェクト管理における生成AI活用

デモをご覧ください

会社紹介

情報システム部門・DX部門を取り巻く課題

生成AI活用の目的

ONES製品とは

ONES Assistant機能

プランと価格

導入実績



ITテクノロジーで価値創造と創出を支援するジェネレーティブプロバイダー

System Concierge

試用・小規模

標準運用

部門横断管理

全社統制



フリー（無料）

まず試す・小規模利用向け

主な内容

- 基本プロジェクト管理
- Wiki基本編集・検索
- AIチャット / ONES MCP
- 主要アプリ連携



AIクレジット

1,800 クレジット / 月 / ユーザー



添付ファイル
30MB / ファイル



スタンダード

標準運用を定着

主な追加

- ✓ ガントチャート
- ✓ マイルストーン管理
- ✓ 成果物管理
- ✓ カスタム自動化ルール
- ✓ ページ公開 / ページロック



AIクレジット

2,500 クレジット / 月 / ユーザー



添付ファイル
300MB / ファイル



ビジネス

分析・可視化・管理強化

主な追加

- ✓ 課題階層構造 / 課題ベースライン
- ✓ 高度なフィールド
- ✓ ドキュメントビュー
- ✓ ガントチャートベースライン
- ✓ テストレポートテンプレート
- ✓ リソース管理 / 依存関係レポート
- ✓ ダッシュボード / パフォーマンス分析
- ✓ ページ出力（アーカイブ） / フローチャートUML
- ✓ MFA / セッション管理 / パスワードルール



AIクレジット

4,300 クレジット / 月 / ユーザー



添付ファイル
300MB / ファイル



エンタープライズ

大規模組織向け統合管理

主な追加

- ✓ 要件トレーサビリティ・マトリクス (RTM) ※近日公開
- ✓ 課題承認 ※近日公開
- ✓ ガントチャート承認管理 ※近日公開
- ✓ ページ承認
- ✓ マルチチーム管理



AIクレジット

6,400 クレジット / 月 / ユーザー



添付ファイル
300MB / ファイル



共通の方向性：機能は「基本利用」から「分析・統制・組織横断管理」へ段階的に拡張



ONES オンプレミス | オンプレミス特有の拡張



カスタム
LLM



LDAP/AD
コネクター



SAML
コネクター



CAS
コネクター



API
同期



代表ユーザー数別 年額価格一覧

参考 ユーザー数	スタンダード	ビジネス	エンター プライズ
10	¥46,800	¥93,600	¥140,400
100	¥468,000	¥936,000	¥1,404,000
500	¥1,664,000	¥3,328,000	¥4,992,000
1000	¥3,016,000	¥6,032,000	¥9,048,000
3000	¥8,424,000	¥16,828,500	¥25,252,500
5000	¥13,487,500	¥26,975,000	¥40,462,500
10000	¥17,225,000	¥34,450,000	¥51,610,000
15000	¥18,720,000	¥37,440,000	¥56,160,000
15,001+	お問い合わせ	お問い合わせ	お問い合わせ



代表ユーザー数別 年額価格一覧

参考 ユーザー数	スタンダード	ビジネス	エンター プライズ
10	¥81,250	¥130,000	¥195,000
100	¥812,500	¥1,300,000	¥1,950,000
500	¥3,315,000	¥5,304,000	¥7,956,000
1000	¥5,655,000	¥9,048,000	¥13,572,000
3000	¥14,176,500	¥22,678,500	¥34,008,000
5000	¥21,905,000	¥35,035,000	¥52,585,000
10000	¥41,925,000	¥67,080,000	¥100,620,000
15000	¥49,042,500	¥78,487,500	¥117,780,000
15,001+	お問い合わせ	お問い合わせ	お問い合わせ

※ 価格は税別です。
 ※ ユーザーは1ユーザー単位で追加可能です。
 ※ 15,001ユーザー以上は個別見積（お問い合わせ）です。
 ※エンタープライズプランは、オンプレミス版とSaaS版のどちらかを選択できます。
 ※エンタープライズプランは、組織単位利用が可能です。組織の場合、複数チームのWikiを利用して
 も、課金は1ユーザーで計算されます。

※ 価格は税別です。
 ※ ユーザーは1ユーザー単位で追加可能です。
 ※ 15,001ユーザー以上は個別見積（お問い合わせ）です。
 ※エンタープライズプランは、オンプレミス版とSaaS版のどちらかを選択できます。
 ※エンタープライズプランは、組織単位利用が可能です。組織の場合、複数チームのProjectを利用し
 ても、課金は1ユーザーで計算されます。

会社紹介

情報システム部門・DX部門を取り巻く課題

生成AI活用の目的

ONES製品とは

ONES Assistant機能

プランと価格

導入実績



ITテクノロジーで価値創造と創出を支援するジェネレーティブプロバイダー

System Concierge

ヘルスケア / コンシューマーグッズ

ヘルスケアグループが14以上のプロダクトラインで受付・デリバリー・キャパシティを統合

医療・コンシューマーヘルスケアグループが、構造化された受付、連携されたデリバリー、キャパシティ可視化、再利用可能なナレッジで14以上のプロダクトラインにまたがるR&D管理を刷新した事例。

- 🕒 300ユーザー・14以上のプロダクトライン
- 🕒 12週間で導入・オンプレミス導入

スマートヘルス・ウェアラブルテクノロジー

ウェアラブル・デジタルヘルス企業がアジャイルなライフサイクル管理で複数製品のR&Dを統合

4つの製品ラインでアジャイルスプリントを運用するヘルステクノロジー企業が、分散したスプレッドシートを構造化されたR&D管理へ置き換え、スプリントベースの反復開発とガントを活用したプロジェクト計画を組み合わせた事例です。

- 🕒 250ユーザー・スマートヘルス・ウェアラブルテクノロジー
- 🕒 Private (On-Prem)・アジャイル + ガントベース計画

自動車 / SDV

大手自動車ソフトウェア企業

Jira・Confluenceを刷新し、2,000名規模で人事評価システムを構築した成功事例

- 🕒 利用ユーザー数2,000名・Jira / Confluenceからの移行
- 🕒 ペーパーレス化を実現した業務立ち上げ・人事評価システムを内製構築

自動車 / インテリジェントキャビン

グローバル自動車メーカーのインテリジェントキャビン変革

インテリジェントキャビンの合併会社が、In-CarとOut-Carをまたぐ500名超のR&DユーザーをONES上で統合した方法

- 🕒 500名超のR&Dユーザー・3か月で導入
- 🕒 ハイブリッド Waterfall + SAFe・プライベートクラウド



ITテクノロジーで価値創造と創出を支援するジェネレーティブプロバイダー

System Concierge

金融サービス / 信託

大手東アジア信託銀行

150 名超の体制で、ポートフォリオ可視化とリソース統制を実現した事例

- ☑ 利用ユーザー数150 名以上・3 種類のプロジェクトタイプを統合
- ☑ 外部委託比率 80% の稼働時間を可視化

エンタメ・従業員 500 名以上

テーマパーク & リゾートの統合移行

6 フェーズでパーク・ホテル・小売を横断した運営を統合。Zephyr Squad も含めてシームレスに移行。

- ☑ リソース制約のある VM を考慮した抽出最適化
- ☑ 部門チャンピオンと 6 週間のハイパーケア体制

金融サービス / 保険

大手アジア損害保険会社

100 以上のシステムを横断し、標準化された R&D 管理基盤を構築

- ☑ 従業員数7,000 名以上・ONES 利用ユーザー200 名
- ☑ ウォーターフォール × アジャイルのハイブリッド運用・100 以上の業務システムを一元管理

金融サービス / ファンドマネジメント

大手ファンドマネジメント企業

大手ファンドマネジメント企業がプロジェクト遂行とガバナンスを統合した方法

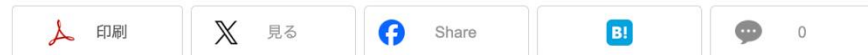
- ☑ 5 種類のプロジェクトテンプレート・プライベートデプロイ
- ☑ プロジェクト遂行、承認、文書ガバナンスを一元化

年間3000万件のアクセスをExcelで処理していた

月次報告180時間が「ゼロ」に パナソニック くらしアプライアンス社が挑んだVoC分析の改革

🕒 2025年10月07日 06時00分 公開

[仲奈々, 大村果歩, ITmedia]



PR “絶対に止められないシステム”を支える「信頼できるストレージ」の要件は？

PR 仮想化問題を解決する「Dell NativeEdge」登場 運用時間が92%減の試算も

PR 東京ガス、アサヒの変革者が実践 個人の熱量が組織を動かす「Tech0」とは

多くの企業が顧客の声（VoC）を収集・分析しているものの「膨大なデータの処理に時間を取られ、本来の分析業務に集中できない」「せっかく集めた声を商品開発に生かしきれていない」といった課題に直面している。

そうした中、パナソニック くらしアプライアンスのCX事業開発室 CS-DX推進部は、年間約250万件のVoCを効率的に分析・活用する仕組みを構築。**月次報告作業にかかっていた180時間をゼロにする**という劇的な効率化を実現した。その結果、トライベックの「デジタルサポートランキング 家電分野」で6年連続1位を獲得するなど、顧客満足度向上も達成している。パナソニック くらしアプライアンスのCS-DX推進部に所属する堀田西五氏（第一課 係長）に、業務変革の全貌を聞いた。



デジタルサポートランキング6年連続 1 位
FAQ対応への活用にONES Wiki+ONES Assistantが利用されている

デジタルサポートランキング2024

家電製品

順位	企業・サービス名	デジタルサポート 評価指数 (単位：Pt)
1	パナソニック	60.0
2	日立	55.1
3	ソニー	54.6
4	シャープ	51.9
5	三菱電機	51.8
6	ダイキン工業	51.3
7	東芝	50.1
8	アイロボット（ルンバ、ブラーバ）	48.8
9	バルミューダ	45.2
10	アイリスオーヤマ	44.6
11	ダイソン	40.9

※ <https://ja.panbrand.jp/ranking/ss-ranking/ss2024-2.html#%E6%A5%AD%E7%A8%AE21>



ITテクノロジーで価値創造と創出を支援するジェネレーティブプロバイダー

System Concierge



Panasonic

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 



兵庫県
Hyogo Prefecture

NRI



TELEDYNE
TECHNOLOGIES
Everywhere you look™

 zetachain

ご清聴ありがとうございました。

当社の強みは「仕組み化」まで支援ができることです。

もちろん、ツール導入支援や操作サポートも提供いたしますが、お客さまの目的を達成するためには、ルールやガイダンスの策定、ポリシーなど運用の仕組みを構築できなければ本当の価値を提供することができません。

価値を創出する「ジェネレーティブプロバイダー」の株式会社システムコンシェルジュにご相談ください。

問い合わせフォーム：<https://systemcon.co.jp/contact/>

メールアドレス：ones@systemcon.co.jp

担当：株式会社システムコンシェルジュ 大塚